

HKS MUFFLER

取扱説明書

＜製品番号 33004-AH003＞

6BA-FL5

FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取説品番 E65400-H22440-00
2026年7月10日発行
Ver.No.2-1.0A

HKS MUFFLER

お願い

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本取扱説明書は製品を使用する際および自動車に装着する際の
注意事項について詳しく記載してあります。

★内容を十分にご理解のうえ、正しくお使いください。

★必要なときにいつでも確認できるよう、車内に保管して
ください。

もくじ

	ページ
(1) ご使用の前に必ずお読みください - - - - -	3~8
●製品の構成部品図 - - - - -	3
●装着可能自動車と製品仕様 - - - - -	4
(2) 製品についてのご説明 - - - - -	9
(3) 使用方法 - - - - -	10
(4) 組付方法 - - - - -	11~13

はじめに確認してください。

- ★この製品は下記リストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合は、お買上げの販売店までご連絡ください。
- ★装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で排気もれや故障の原因になる場合がありますので注意してください。
- ★取付作業手順は11~13ページに記載してあります。

構成部品及び付属品リスト		最小限必要な工具	
□フロントパイプ	1	めがねレンチ 14mm	2
□ガスケット 上流側(φ76)	1	マイナスドライバ(刃先幅 6mm)	1
□ガスケット 下流側(φ62)	1	コイン等	1
□ボルト(M10 P=1.5 L=25)	3	プラスドライバ(No.2)	1
□ナット(M10 P=1.5)	3	プラスドライバ(No.3)	1
□プレーンワッシャ	6	ソケットレンチ(差込角3/8インチ / 9.5mm角)	1
□スプリングワッシャ	3	※ 高トルク(54Nm等)のためロングレンチ推奨	
□取扱説明書(本書)	1	ディープソケット 14mm	1
□保証書	1	ソケット 10mm	1
		エクステンションバー	1

HKS MUFFLER

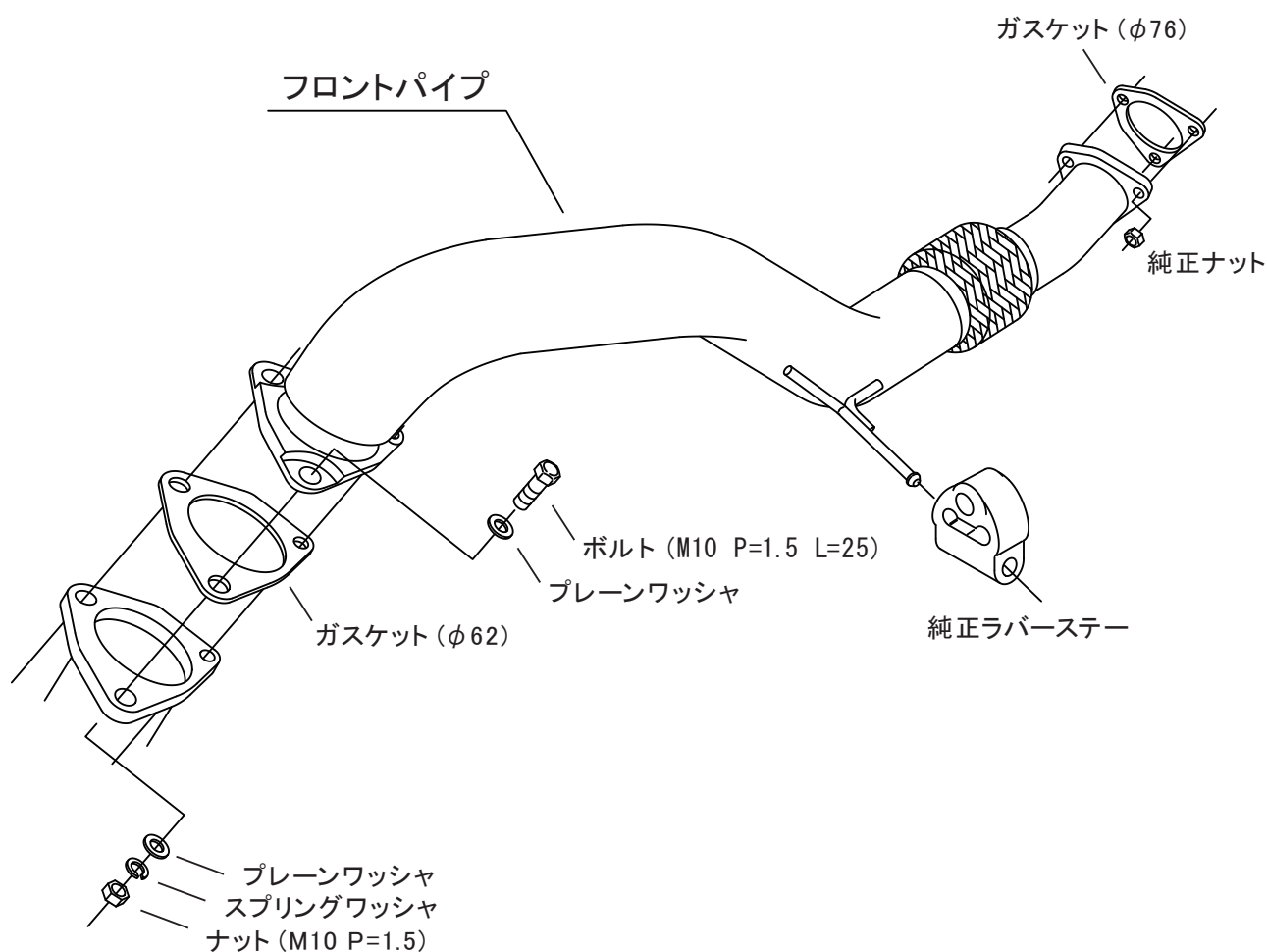
(1) ご使用の前に必ずお読みください

必ずお読みください。

製品の構成部品図

6BA-FL5

FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5



必ずお読みください。

装着可能自動車と製品仕様

☐ 車 両 : ホンダ CIVIC TYPE R

☐ 車 両 型 式 : 6BA-FL5

☐ 年 式 : 2022/9～

(上記の適合情報は、2026年 7月現在の情報です。
最新の車両適合に関しましては、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.hks-power.co.jp/product/exhaust/index.html>)



☐ エ ン ジ ン 型 式 : K20C

☐ 製 品 名 称 : FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5

☐ 製 品 番 号 : 33004-AH003

☐ 製品装着後の自動車の : 約 115 mm (純正フロントアンダカバー)
最低地上高(部位)

☐ 製品装着後の排気管の : 約 120 mm (製品フレキシブルパイプ)
最低地上高(部位)

* 本製品装着による最低地上高の変化はありません。

●本製品は道路運送車両法保安基準に関し、基準値を満たすように設計、製造されています。
購入後、はじめに上記の「装着可能自動車と製品仕様」が装着車両と一致することを確認してください。

★車両型式は車検証、エンジン型式は車両のコーションプレートにて確認できます。
また、製品の加工、改造等を行った場合は保証の対象外となります。

HKS MUFFLER

「安全にご使用いただくために」 必ずお読みください。

●本取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に使用するために守っていただきたい事項を記載しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を理解してから、本文をお読みください。

本書中のマーク説明（表示と図記号）



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

お願い

この表示を無視して誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。



警告

- 自動車部品の交換は本来、設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です。

一酸化炭素中毒防止



警告

- エンジンをアイドリングしたまま、休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
- 排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。
必ずエンジンを停止してください。
風向きにも注意してください。
- マフラーのテールパイプからは一酸化炭素を含む有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中の車両後方に人がいる場合、特に幼児やペットを車両後方に残した場合は一酸化炭素中毒を引き起こすおそれがあります。
エンジンを必ず停止してください。
風向きにも注意してください。

触れると火傷



警告

- エキゾーストマニホールド、触媒コンバータは特に高温になっていて触ると大火傷のおそれがあります。
- エンジン運転中あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒、マフラーは高温になっています。
特に後端のテールパイプは車両外部に露出しており、触れやすいため注意してください。
触ると火傷の危険があります。
- お子様には特に注意してください。またトランクから荷物を出し入れする際、衣服がテールパイプに触れると熱によって損傷するおそれがあります。
停車、駐車する際には周囲の状況を十分に確認してください。

HKS MUFFLER

警告

- エキゾーストマニホールドなどにオイルやブレーキ液をこぼすと火災のおそれがあります。
- 弊社の製品を装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
- 自動車の排気関係の部品は正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、製品が腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社にご相談いただき、製品本来の性能が失われていた場合は弊社の製品に交換してください。腐食を放置すると排気ガスが車体の下部などにもれて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられることがあります。
- 自動車の安全な整備はドライバの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかるうえで必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施してください。
- 排気系部品の交換は自動車の床下作業が多いので持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。
必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
『2柱式リフト』をお薦めします。
やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は必ずリジトラック（うま、安全スタンド）を併用して安全に作業してください。
車載ジャッキでの作業は危険なので絶対にお止めください。
- 排気系部品の交換は離れた箇所を同時に締付ける作業や重い部品を下から支える作業が多いので、1名で作業すると危険です。
必ず2名以上で行ってください。
- 排気系部品は熱いので触ると火傷します。必ず、冷えてから作業してください。手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

 警告

- 排気系部品は錆びてボルトやナットがゆるみにくいことがあります。
スプレー式等の浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

 注意

- 弊社の製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用条件が悪いと早く腐食して穴があくことがあります。また、石等と接触し、破損して穴があくこともあります。いずれも排気ガスもれの原因となりますので十分に注意してください。
- 自動車の排気系部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすいものの上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすいものがないことを確認してから停車、駐車してください。
- サーキット走行などの高負荷なスポーツ走行時には、走行条件や車両個体差、熱膨張等の影響により、まれにマフラーのテール部とバンパが干渉する場合があります。干渉によりバンパの表面にキズや変形、または溶損が発生するおそれがあります。そのため、スポーツ走行を行う際は、遮熱テープや遮熱シート等による遮熱対策を必ず実施してください。
なお、これらの現象は使用環境や走行条件に起因するものであり、保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

HKS MUFFLER

ご使用の前に必ずお読みください。

(2) 製品についてのご説明

- この製品は、国土交通省令で定める道路運送車両の保安基準第30条(騒音防止装置)・第31条(ばい煙、悪臭のあるガス、有毒のあるガス等の発散防止装置)について4ページに挙げる車両に装着された際に、改造申請等の事前手続きは一切必要ありません。
- しかし上記の車両に、この製品以外の製品装着や改造を行った場合は、法令等で定められた試験の実施や改造申請等の手続きが必要となる場合があります。
詳細については、当該製品に付属する取扱説明書等にてご確認ください。
- この製品は、標準車における自動車製造メーカー純正部品との交換を対象としたものであり、その他の改造等を行った場合は、その適合性を満たすものではありません。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この製品及び付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用ください。但し、その場合、自動車が損傷することがありましても弊社は一切、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 法令により、一部車種を除いて国土交通省令で指定を受けた触媒を外した自動車を運行することができません。

フロントパイプの概要

弊社のフロントパイプは理想的な排気効率、軽快な音質、優れた耐久性・消音性を確保した高性能なフロントパイプです。また、最低地上高の問題に関しても独自の設計構造により対処しています。



警告

- フロントパイプの交換は本来、設備の整った自動車整備工場等で専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です。
整備作業は専門の整備工場等に依頼してください。
- フロントパイプの使用において、車の性能が上がる場合があります。これに伴い燃料調整等、車両ごとのセッティングが必要になる場合があります。これを怠ると車両の故障や破損が生じるおそれがあります。

★製品に関してのお問い合わせは、お買上げの販売店までお願いいたします。

ご使用の前に必ずお読みください。

(3) 使用方法

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- フロントパイプは正しい使用方法を守り、本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- 使用の際に、不必要な空ぶかしや長時間のアイドリングはお止めください。消音能力低下や停滞した排気の熱害でエンジンルームの電装品等、補機部品が故障することがあります。



- 弊社のフロントパイプを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。

- 塩分や湿気の多い場所での保管や放置は避けてください。機能低下や腐食の原因になります。
- 荷重のかかる使用は破損や変形及び重大な事故につながるおそれがありますので避けてください。乗ったり、体重をかけたりしないでください。
- ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途の使用では製品の耐用期間が著しく低下しますのであらかじめご了承ください。
- 不要になった自動車部品を破棄する場合は自動車整備工場や自動車部品解体業などの専門家に相談してください。

HKS MUFFLER

(4) 組付方法



警告

作業中の
怪我・火傷

【(1) ご使用の前に】を十分に理解したうえで、実施をしてください。

作業前に必ずお読みください。

お願い

- 作業前に、自動車と製品が確実に適合していることを車検証と本取扱説明書で確認してください。
- 純正部品の取外し作業は自動車メーカーの作業手順通り作業してください。
- 純正部品と弊社製品作業手順が異なる場合があります。その場合は、本取扱説明書に記載された作業手順を確認し、内容を理解したうえで作業してください。
- 製品を装着前及び装着の際に、落としたり、強い衝撃を与えないでください。装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますので注意してください。
- マフラー、エキゾーストマニホールド、触媒等を純正部品以外のものと交換している場合、弊社のフロントパイプとの組合せで、排気効率が著しく改善され、自動車の性能が向上し、場合によってはエンジン等の破損につながる場合があります。事前に販売店等へご相談のうえ、正しくお使いください。

★作業の方へお願い



注意

- 取外した排気系部品を保管する場合は横置きで保管していただくよう、お客様に指導してください。
縦置きの状態で保管すると倒れて危険です。

お願い

作業終了後、本取扱説明書を必ずお客様へ返却してください。

★作業の際に必ず下記の点検をしてください。

- 純正のマフラー吊り下げ用ラバーステーに割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合、純正品の新品に交換してください。

組付作業手順

※装着作業は専門の整備工場などにご依頼ください。
※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味。

 警告	ラバーステーに潤滑剤等を塗付しないでください。 脱着時に潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取り除いてください。 油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなど重大な事故の原因になります。
お願い	●ガスケットの再使用はしないでください。 ●吊り下げ用ラバーステーは純正品を使用してください。 ●交換作業の途中でIG ONにしないでください。DTCエラーコードが記録されます。作業途中でIG ONにしてしまった場合、診断機を使用しエラーコードの記録をクリアしてください。

1. 『純正部品の取外し』

- (1) フロントアンダカバー、リアアンダカバー、純正フロントパイプ、純正マフラーを自動車メーカーの作業手順書に従って取外してください。
純正マフラーを装着する場合は、純正フランジ面からリングガスケットを取外してください。

2. 『HKSフロントパイプの仮組付』

- (1) 純正フロントパイプで使用した純正ラバーステーをHKSフロントパイプのフックへ取付けます。
- (2) ラバーステーを取付けた状態で車両側のフックへ取付けます。
- (3) 触媒側フランジとの合わせ面に上流側ガスケット(φ76)を挟み、純正ナットを再使用して仮付けします。

お願い	●ラバーステー、ナットは純正品を使用してください。
------------	---------------------------

3. 『純正マフラー仮組付』

- (1) マフラーを車両側へ取付けます。HKSフロントパイプとマフラーのフランジの合わせ面に下流側ガスケット(φ62)を挟み、付属のボルトナット、ワッシャー類を使用して仮付けます。

4. 『全体の本組付』

- (1) 触媒側フランジの各純正ナットを少しずつ交互に締付けます。
- (2) マフラー側フランジの各ボルトナットを少しずつ交互に締付けます。
- (3) 各部クリアランスの確認を行い、干渉等の問題が無ければ本締めを行います。

各部クリアランス	触媒接続部 ~ フレキシブルパイプ間	5 mm以上
	フレキシブルパイプ ~ マフラー接続部間	10 mm以上
締付けトルク	純正触媒側 純正M10ナット×3	T= 54 N・m (T= 5.5 kgf・m)
	マフラー側 付属M10ボルトナット×3	T= 31 N・m (T= 3.2 kgf・m)

- (4) 本締め後、各部クリアランスの再確認をしてください。

HKS MUFFLER

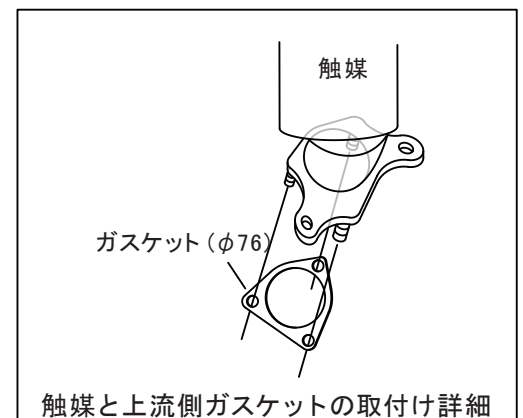
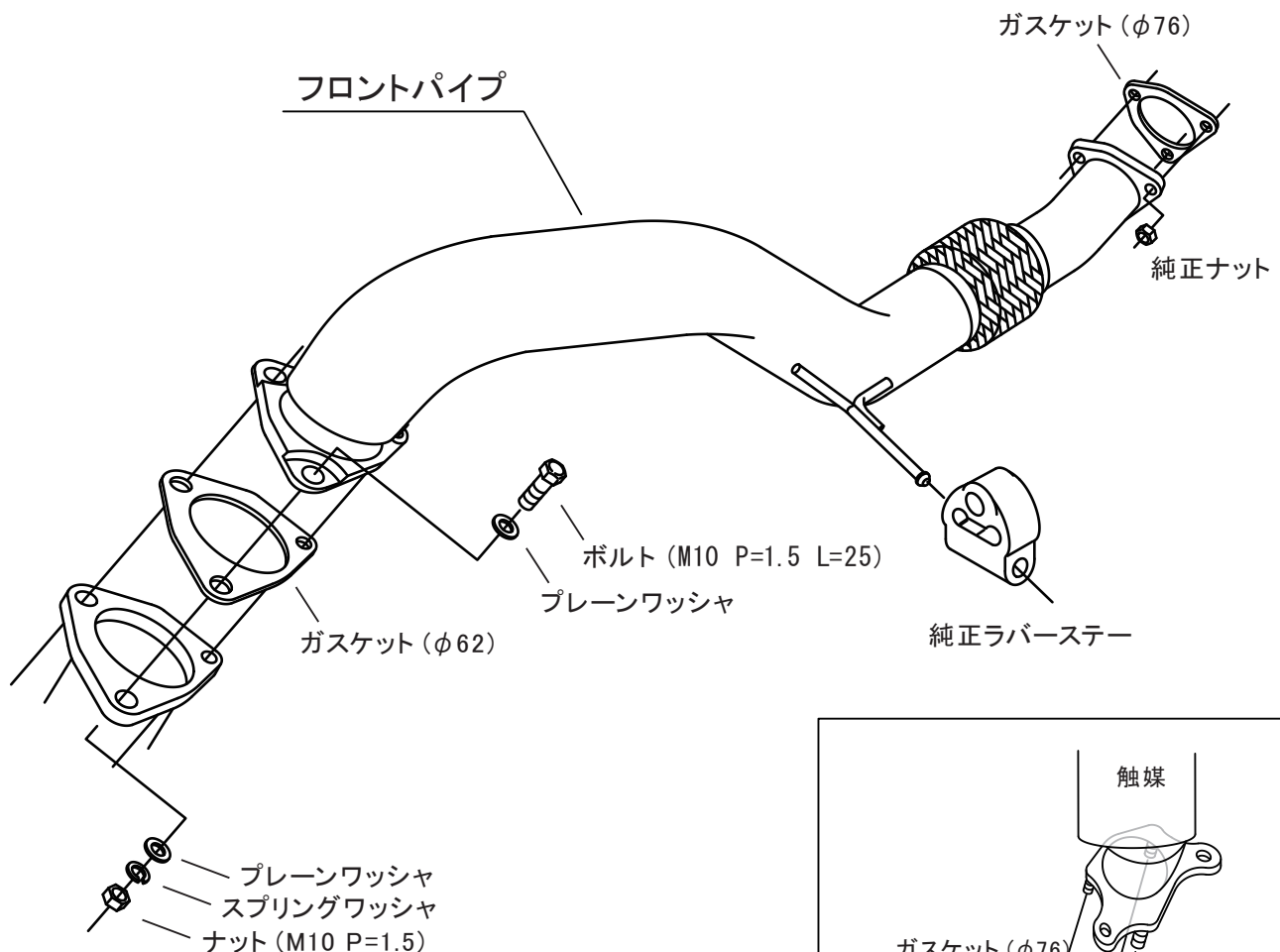
5. 『排気漏れや異音の確認とその他純正部品の取付け作業』

- (1) 本組付け後、フロントパイプを手で揺すり干渉が無いことを確認してください。
構造上、純正フロントアンダカバーを取付けると排気漏れ等の確認作業が難しいため、確認作業は先に行ってください。
- (2) エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異音を確認してください。
- (3) 純正アンダカバーを取付けてください。
- (4) 試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異音を点検してください。
- (5) (1)～(4)の項目に異常があった場合、最初から装着をやりなおしてください。

組付図

6BA-FL5

FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5



以上で弊社フロントパイプの装着が完了しました。

本取扱説明書の内容を改めてご確認ください、安全で快適なドライブをお楽しみください。





株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>

HKS Exhaust System

User & Installation Manual



<33004-AH003>

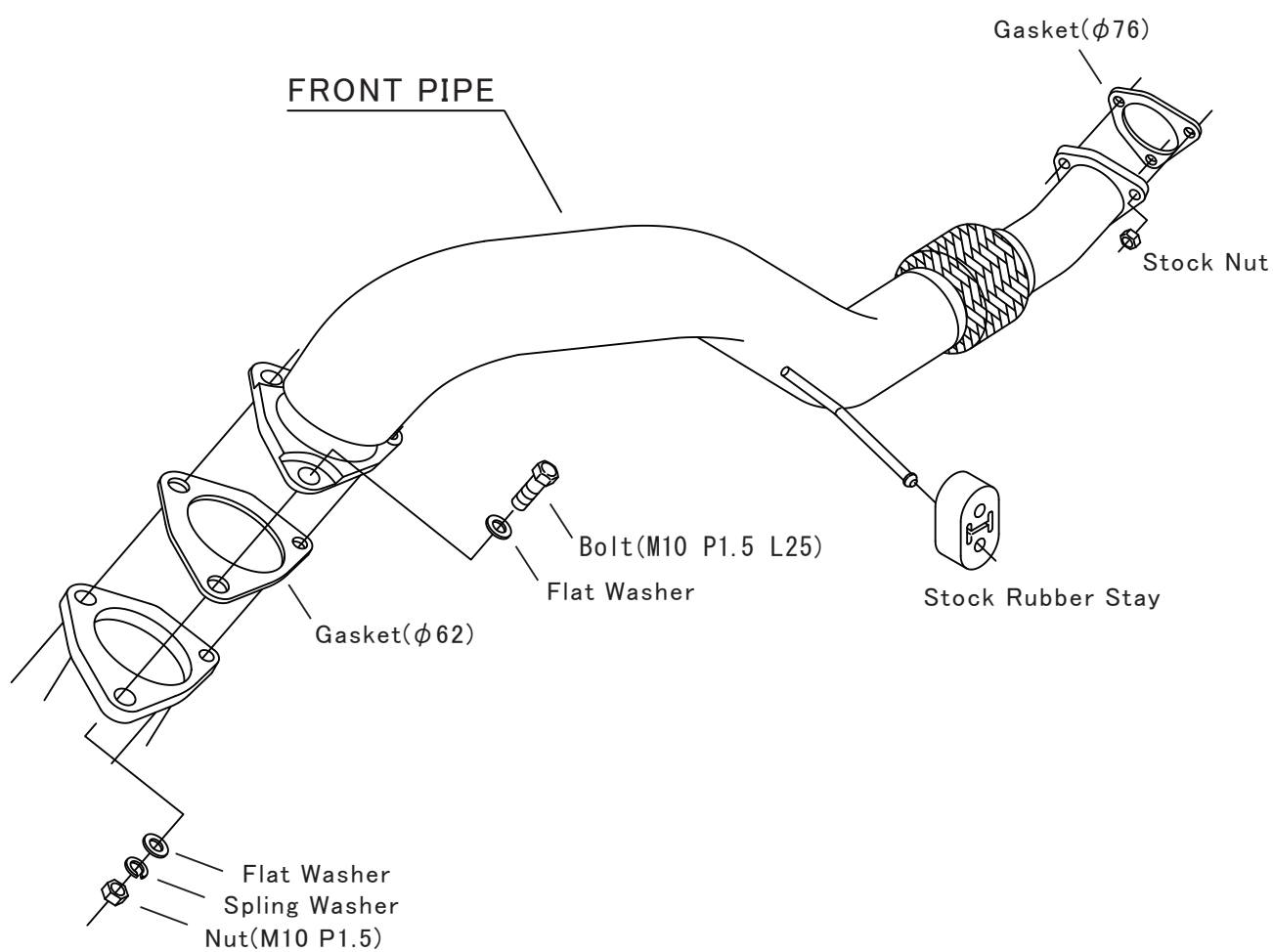
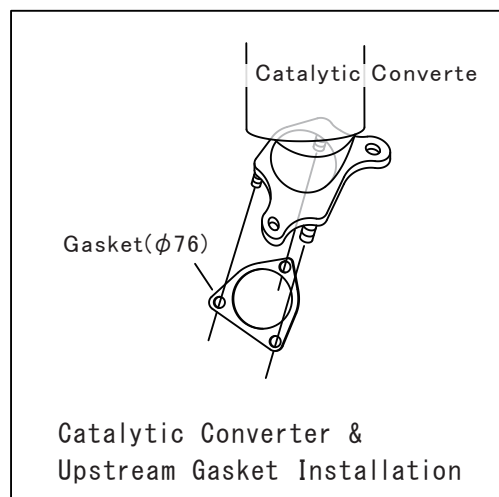
Confirm Before Installation

Part Number : 33004-AH003
Name of Product : FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5
Application : HONDA CIVIC TYPE R

- ★ Make sure that all the parts listed in the Parts List below are included in the kit.
- ★ Be careful when handling this product; avoid dropping or subjecting it to excessive impact. Failure to do so may result in product damage or improper installation.

	Parts List / Hardware	QT.
①	FRONT PIPE	1
②	Upstream Gasket (ϕ 76)	1
③	Downstream Gasket (ϕ 62)	1
④	Bolt (M10 P1.5 L25)	3
⑤	Nut (M10 P1.5)	3
⑥	Flat Washer	6
⑦	Spring Washer	3
⑧	Manual	1

Part Number : 33004-AH003
Name of Product : FRONT PIPE for CIVIC TYPE R FL5
Application : HONDA CIVIC TYPE R



Thank you for purchasing the HKS Exhaust System.

To ensure proper use of this product, please read this User & Installation Manual carefully before use.

Before installing the product on the vehicle, please confirm that all components are included and correct.

Foreword

- Replacement and installation of this product involve potentially hazardous work and must be performed by a qualified technician at a properly equipped automotive service facility. Failure to do so may result in injury or burns. Have this product installed by a qualified automotive service facility.
- Do not perform any illegal modifications on this product, such as cutting the pipe and/or removing the internal components of the muffler.
- Our company shall not bear any responsibility should you, the customer, or a third-party cause a breakdown of the product and its auxiliary product through modification or disassembly, or for damages caused by problems resulting from its misuse.
- This product and its parts may be revised without warning to the customer.
- Due to regulations, it is not legal to drive any vehicle with the catalytic converter or any other emission device removed or modified (Unless specified by local regulations).

Product Precautions

- While the engine is running or immediately after it has been stopped, the exhaust manifold, exhaust pipe, catalytic converter, and muffler become extremely hot. Exercise extreme caution and do not touch any part of the exhaust system that protrudes from the rear of the vehicle. Contact with any part of the exhaust system may result in burns. In addition, contact with the tailpipe while loading or unloading luggage from the trunk may cause clothing to be scorched or melted. When stopping or parking the vehicle, always pay careful attention to the surrounding area to ensure safety.
- Oil or brake fluid spilt on the exhaust manifold could burst into flames.
- Exhaust gases contain toxic substances. There is always a danger of carbon monoxide poisoning if you continue to work in a poorly ventilated garage or warehouse with the engine running. Always turn off the engine and check for adequate ventilation before working in an enclosed space. Be especially careful when pets and children are near the installation site. Take note of wind direction when running a vehicle near people.
- Installation of this product may improve exhaust flow efficiency and increase vehicle performance. Before operating the vehicle, ensure that the brake system is in proper working condition, verify brake performance, and perform a thorough safety inspection of all components on the underside of the vehicle.
- This product is designed to provide sufficient ground clearance when the vehicle is at the standard (factory) ride height. Lowering the vehicle excessively may cause this product to come into contact with the road surface or other obstacles, resulting in damage. Damage to the product may cause exhaust gas leaks.
- Even when the emission control system components are used properly, depending on operating conditions, substances contained in the exhaust gases and corrosion may reduce the muffling performance or cause holes to develop in the product. If this occurs, promptly consult your dealer or a qualified automotive service facility. If this product can no longer maintain its intended performance, replace it with an identical product.
- It is the legal responsibility of the driver to safely upkeep his/her car. Periodic inspection and service is essential for safety and to prevent pollution. Be certain that routine inspections are made as well as periodic inspections and parts replacement if necessary.

- While the product of our company uses carefully selected materials, and the product is manufactured under strict quality control standards in consideration of durability, the product could corrode and develop holes at an unexpectedly early stage if the vehicle is driven under adverse conditions. Moreover, the product could be hit by small rock and other road debris that may damage or cause holes in the product. Please be very careful because this could cause leakage of exhaust gases.
- Removal of the catalytic converter or removal of its internal components is prohibited by law. Such actions contribute to environmental pollution and must never be performed.
- Exhaust components on automobiles sometimes reach very high temperatures. Do not leave the vehicle over dry grass or other flammable materials with the engine running or even after immediately turning off the engine.
This could cause a fire. Please stop or park your vehicle in an area where there are no flammable objects under the vehicle.
- When using your vehicle, refrain from revving or idling the engine for extended periods of time. This could cause deterioration of the sound muffling material in the muffler. The heat from stagnant exhaust could cause breakdowns of electrical parts and auxiliary parts in the engine compartment.
- Do not store or leave vehicle in humid areas or where salt is prevalent. This could cause deterioration and corrosion of parts.
- Avoid applying excessive load, as it may result in damage, deformation, or serious accidents.
Do not stand on, sit on, or otherwise apply body weight to the product.
- Please understand that using your vehicle in various types of races, circuit runs and other special use could markedly lower the durability of the product.
- During high-load sports driving, such as circuit driving, the tail section of the muffler may, in rare cases, come into contact with the bumper due to driving conditions, individual vehicle variations, thermal expansion, and other uncontrollable factors.
Such contact may cause scratches, deformation, or heat damage to the bumper surface.
herefore, when performing sports driving, appropriate heat protection measures, such as heat-resistant tape or heat shielding sheets, must be applied.

Installation Precautions

- When installing this product, always follow the instructions in this manual and perform the installation correctly. Use a torque wrench to tighten all bolts and nuts to the specified (factory-specified) torque, and ensure that they are securely fastened to prevent loosening during vehicle operation.
- The exhaust manifold and catalytic converter may become extremely hot during operation. Contact with hot exhaust system components may result in severe burns. Perform the installation only after the vehicle has cooled sufficiently. To help prevent burns, always wear heat-resistant gloves during installation.
- Rust may make it difficult to loosen the nuts and bolts on the exhaust system. Use a spray-type lubricant and the correct tools to loosen the nuts and bolts and refrain from using excessive force that may cause the nuts and bolts to break. Always use heat-resistant gloves to prevent injury to hands.
- Replacement of exhaust system components often requires working underneath the vehicle. Working under a vehicle that is not properly supported is extremely dangerous. Always use an automotive service lift and perform the work safely. If the use of a floor jack is unavoidable, always support the vehicle with jack stands before beginning work. Never work underneath a vehicle supported only by the vehicle's jack, as this may result in serious injury.
- Replacement of exhaust system components often requires simultaneously tightening fasteners located at different positions and supporting heavy components from underneath. Performing this work alone is dangerous. Always carry out the installation with two or more people.
- When installing the new exhaust system, ensure that adequate clearance is maintained at all locations. Exercise particular care when working near the brake system, fuel lines, drivetrain components, and electrical wiring.

- If you find cracks and other deterioration in the rubber exhaust hangers, replace them with the vehicle manufacturer's new standard parts.
- If the removed stock components are to be stored, always store them in a horizontal position. Never store them in an upright position, as they may tip over and cause injury.
- Due to the vehicle's design, it may be necessary to disassemble certain stock components for removal. Except for certain products, installation generally does not require any modification to the vehicle or exhaust system. For products that require modification, refer to the "Installation Procedure" section.

Installation Procedure

WARNING

Do not apply lubricant, etc. to the rubber stays.
If lubricant is used during installation or removal, thoroughly clean the stays to remove any oil or grease.
If any oil or grease remains, the product may become detached while driving, which could result in a serious accident.

NOTE

- Do not reuse the gasket.
- Use the stock rubber stays.
- Do not turn the Ignition (IG) ON during the replacement procedure. Doing so will cause a DTC (Diagnostic Trouble Code) to be stored. If the IG is turned ON during the replacement procedure, use a diagnostic scan tool to clear the stored DTC.

1. Removal the Stock parts

- (1) Remove the front under cover, rear under cover, stock front pipe, and stock muffler according to the vehicle manufacturer's repair manual.
When installing the stock muffler, remove the ring gasket from the stock flange mating surface.

2. Temporary Assembly of the HKS Front Pipe

- (1) Install the stock rubber stays used with the stock front pipe onto the hooks of the HKS front pipe.
- (2) With the rubber stay attached, install the assembly onto the vehicle-side hook.
- (3) Position the upstream gasket (Ø76) between the mating surfaces of the catalytic converter-side flange, then temporarily secure the flange using the stock nuts.

NOTE

- Use stock rubber stay and nut.

3. Temporary Assembly of the Stock Muffler

- (1) Install the stock muffler onto the vehicle. Place the downstream gasket (Ø62) between the mating surfaces of the HKS front pipe flange and the stock muffler flange, then temporarily secure them using the supplied bolts, nuts, and washers.

4. Final Assembly

- (1) Gradually tighten the stock nuts on the catalytic converter-side flange, alternating between the nuts to ensure even tightening.
- (2) Gradually tighten each bolt and nut on the muffler-side flange, alternating between them to ensure even tightening.
- (3) Check the clearances at all locations. If no interference or other issues are found, perform the final tightening.

Component Clearances			
Between the catalytic converter connection and the flexible pipe		Clearance	5 mm or more
Between the flexible pipe and the muffler connection		Clearance	10 mm or more
Tightening torque			
Stock catalytic converter-side	Stock M10 nuts ×3	54 N•m	(5.51kgf•m)
Muffler side	Stock M10 bolts and nuts×3	31.5 N•m	(3.21kgf•m)

- (4) After final tightening, recheck the clearances at all locations to ensure there is no interference.

5. Inspection for Exhaust Leaks and Abnormal Noise, and Installation of the Stock Components

- (1) After completing the final tightening, move the front pipe by hand to confirm that it does not interfere with any surrounding components.
Since the design of the stock front under panel makes it difficult to inspect for exhaust leaks and other issues, perform these inspections before reinstalling the stock front under panel.
- (2) Start the engine and allow it to reach operating temperature. Then raise the engine speed to approximately 2,500 rpm and inspect each flange for exhaust leaks and all components for abnormal noise.
- (3) Install the stock under panel.
- (4) Perform a test drive, then recheck each flange for exhaust leaks and inspect all components for abnormal noise.
- (5) If any abnormalities are found during the inspections in steps (1) through (4), repeat the installation procedure from the beginning.



HKS Co., Ltd.

7181 Kitayama, Fujinomiya,

Shizuoka 418-0192, JAPAN

<https://www.hks-power.co.jp/en/>